

生活

誰にも恋愛感情を持たないアロマンティックアロマ、性的にひかれぬアセクシャルの存在が少しずつ知られるようになっていく。恋愛をして子供を持つことが、当たり前な人生の選択肢ではない。当事者はどんな思いを抱えているのだろうか。

東京都内に住む会社員の里香さん(仮名、39)が「もう恋愛も結婚もしない」と確信したのは大学3年生の時だった。高校までは部活や勉強が忙しく恋愛経験はない。大学で初めて同級生から告白された。「少女漫画が大好きでロマンチックな恋に憧れていたのに、正直うれしかった」。

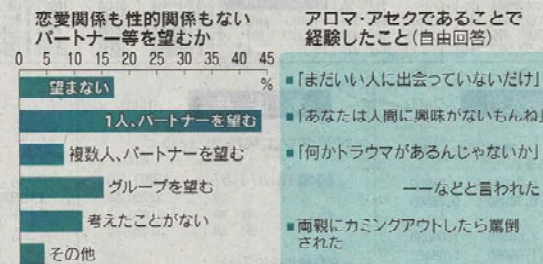
ところが、実際にデートをするたびに「気持ち悪くなる、友達でいた方がずっと楽だった」。別の男性からも告白されて「今度は」と思い性体験もしたが「長く一緒にいることが苦痛で、1人でいるのが一番楽しいことに気がついた」。

漫画のキャラクターなどにひかれる指向をフィクトセクシュアルと呼ぶ。里香さんは「フィクトセクシュアルの感覚があり、アロマかアセクかはハッキリしない」。今の職場に慣れしな

「恋愛しない」という生き方

多様な性的指向

アセクシャル	他者に性的にひかれぬ人。恋愛感情を持たない人はアロマンティック。アはないの意味。無性愛
パンセクシュアル	男性、女性、性の分類がはっきりしない人も含めて性愛・恋愛対象となる人。パンはすべての意味。全性愛
バイセクシュアル	男性、女性どちらにも性愛・恋愛感情を持つ人。両性愛
ホモセクシュアル	性自認が同じ相手に性愛・恋愛感情を持つ人。男性同士はグレイ。女性同士はレスビアン。同性愛
ヘテロセクシュアル	性自認が違う相手に性愛・恋愛感情を持つ人。異性愛



(出所)As Loop 2022「アロマンティック/アセクシャル・スペクトラム調査2022結果報告」から
(注)アロマ・アセクとそれに近いと思う人たち約2300人から回答を得た

理解より当たり前が理想

映画監督の飯塚花笑さんに、恋愛しない生き方や家族観について聞いた。

最新作の「世界は懐かに気づかない」でアセクシャルの女子高生を登場させた。世間で当たり前とされる家族像でなく、希望を抱ける内容にしたかったからです。傑自身トランスジェンダーなので、希望を大事にしています。

「神の教えに反する」と怒る人がいました。子供をつくらない「生産性」がない人間を否定するわけですね。対話が成立しない。自分で恋愛や出産をしながら、子育てに関わる柔軟な家族像があったらいい。

理解という言葉が嫌いです。当たり前前に生きていることを知ってもらえばいい。それだけで生きやすくなる。そういう希望を持っています。(大久保樹)



人間関係はない。「結婚や出産の願望はなく、逆に仕事を辞めて旅に出る自由もある。自分の分類を決める必要はない」と思っています。

「自分のこともわからないのに、他人が私のことまでわかるわけない」ということだ。「肉体的な人にもいい面はある。無理に人付き合いを強要しないでほしい」と願う。

近年、性は男女の二元論ではなくグラデーションと捉える性スペクトラムという考え方が広がっています。性スペクトラムについて研究する東京大学の太久保範昭教授はアロマ・アセクについて「生理学的要因はわかっていないが、おそらく胎児期に脳の中の性的指向を決める部位が男性型

にも女性型にも変化しなかったことが要因と想像される」と指摘。性的指向の多様性の一つと考えられ、個人として尊重すべきだと思ふと話す。

男女を定めない生き方もある。新潟市のバーで働く玲央さん(仮名、22)は恋愛・恋愛感情も持たず、性体験はない。化粧もネイルもして見た目は「女性っぽいな」とあるが、「男女の関係」には「絶対にならない」。ただ、自分が男性であることに違和感はない。

悪露話になると、客から「君男なの、女なの」とよ突っ込まれる。玲央さんは「僕は僕です」と答える。日々自由に生きる。ホストクラブにもキャラクター

にも行く。自分を男か女かに当てはめる必要がない。それで何も困らない。

本や映像の発信も相次ぐ。NHKで昨年放送された「恋せぬふたり」は恋愛感情を持たない男女が同居する話。1月に公開された映画「世界は懐かに気づか

トエッセー「無性愛」を出版した。表紙には「中性的じゃ足りない。もう男でいいさせてください」とある。くつながった人間関係の中で出陣しました。アセクの著者が親になるまでを漫画で描く。

同書の医学監修をした岡

山大学の中塚幹也教授は「現実には恋愛感情と性的欲求を明確に分けることは難しく、一概に人を分類することはできない」と解説する。結婚はしたくないが子供は欲しいという人もい

ない(飯塚花笑監督)は、同性愛の男子高校生が養子提供を希望する場面(映画「世界は懐かに気づかない」)か。

「アセク・アロマの中に多様性がある。生殖医学に詳しい北海道大学の黒岩麻里教授は「子孫を残すことを生物の意義と考え、生産性がない」と性的少数者を非難する心

持った発言があるが、社会性を持つ昆虫や魚では繁殖に参加しない個体もいる。恋愛しない生き方は子育てのあり方も問いかねる。「自分の子供がいなくても、不安も疎外感もない」という会社員の里香さん。「緩くつながった人間関係の中で子育ての選択肢が増えれば、親は子供を育てやすくなり、子供は育ちやすくなると思う」と話した。

男女にこだわらない自由も



同性愛の男子高校生が養子提供を希望する場面(映画「世界は懐かに気づかない」)か。